

コード	503030601
記入日	H23.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	今川 広太

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	上五島温水プール管理運営費
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	3
事務事業コード	5030306	事務事業名称	上五島温水プール管理運営費	細目コード	105
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町温水プール条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 施設利用者		(対象指標1)	延べ43,165人			
(対象2) 管理施設		(対象指標2)	1施設			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・温水プールの管理運営を指定管理者に委託して管理運営を行った。 →保守点検回数 78回	*****	*****	*****	保守点検回数78回+計画した保守点検回数78回	*****
		① 保守点検回数	78回	100%		平成22年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・住民の健康、福祉の増進及びスポーツの普及並びにその振興を図ることを目的に、施設の維持管理を行うものである。	*****	*****	*****	利用可能日数335日+利用できる日数335日	*****
		① 利用日数	335日	100%		平成22年度
		(達成率分析)	平成18年度から指定管理者制度で運営をし、順調に開館している。予定どおり開館できた。			
		②				
		*****	*****	*****	利用者数43,165人+前年度利用者数41,502人	*****
		② 利用者数	43,165人	104.0%		平成22年度
		(達成率分析)	43,165人の利用があり、1日平均128人で、1,663人の増。達成率は高い。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	312	312	234	78	78				
	②									
成果指標	① 日	1,359	1,359	1,024	335	335				
	② 人	164,920	166,583	123,418	41,502	43,165				
総事業費 C (A+B)	千円	154,164	153,983	120,248	33,916	33,735				
直接事業費 A	千円	140,164	139,983	109,748	30,416	30,235				
人件費 B	千円	14,000	14,000	10,500	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	2.0	2.0	1.5	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	154,164	153,983	120,248	33,916	33,735				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町有施設であり、町が維持管理を行うものである。また、健康づくり、スポーツ振興の場であり、町のスポーツ活動実践の場である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の施設である限り、町が維持管理を行わなければならない。また、スポーツに親しませ、体力づくり、健康づくり、競技力向上は不変的なものである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	指定管理制度を利用しているので、指導や管理運営について、民間のノウハウを導入している。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	利用者が増えることにより、町の財政的な負担を抑えることができる。水泳が健康づくりに有効なことを啓発することで利用者増を図る。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の安全性が確保できなくなり、利用者に多大な影響を与える。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	既に指定管理が平成23年6月まで決定しており、直接事業費は削減できない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限度の人件費である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	使用料は適正に負担している。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	さらに利用者増を目指す。
		効率性	利用者が増えることで、町の負担は軽減できる。
		課題に向けた改善策	平成23年7月から新たな指定管理を行うので、今回の実績を踏まえ負担金額等を設定したい。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	指定管理者制度での運営であり、維持・管理はもとより、運営等は十分注視しておくこと。
		効率性	今後も利用者の推移を把握しながら、適正な経費の執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。